

山根歯科通信

2018. 10. 1. No.50



『今回のテーマ』

- ヘルペス性口内炎について
- フロスの重要性を知ろう
- 退職される衛生士さんから一言
- カリソルブについて

〒755-0031
宇部市常盤町2丁目5番25号
医療法人社団 山根歯科医院
併設:山根口腔インプラント研究所
0836-21-5512
<http://www.yamanedental.jp>

フロスの重要性を知ろう

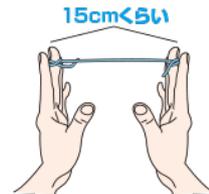
・フロスをおすすめする理由

歯間ブラシでは通らない歯と歯の間の汚れをしっかりと落とせます。

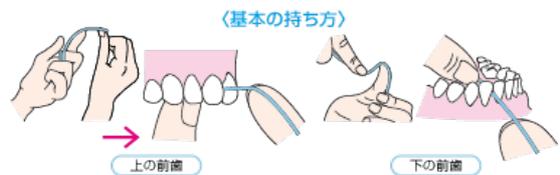
→歯周病や虫歯の予防につながります

フロスにはホルダータイプ、ロールタイプがあり今回は少し扱いにくいイメージのロールタイプ(指に巻き付けるタイプ)の使い方について紹介していきます。普段歯間ブラシをお使いの方も参考にしてみてくださいね。

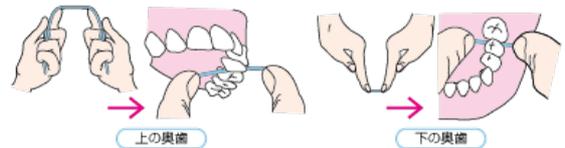
- ①1回の使用分のフロスを取り出し、指に巻き付ける。左右の中指に、2~3回巻き付け指と指の間を1~2cmの長さにします。1回の使用分は40cmくらい



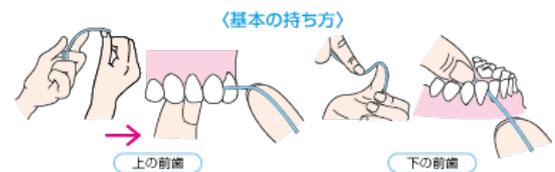
- ②歯と歯の間にフロスをあて、横に動かしながらゆっくりと入れます。鏡をみて場所を確認しながら使用しましょう。



- ③歯の根元まで入ったら歯に巻き付けるようにして上下に動かし、歯垢を落とし、隣り合った歯の両方の面を清掃します。

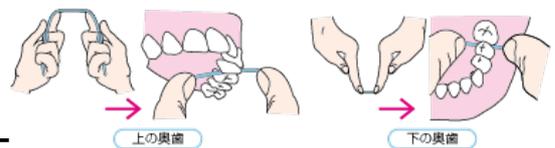


- ④取り出す時も、横に動かしながらゆっくり取り出します。



※注意※

- ・力を入れて差し込まないように「ゆっくり」がポイント
- ・使い方が分からないときは歯科衛生士から正しい使い方の指導を受けましょう。



退職される衛生士さんから一言



私事ではございますが、この度山口市に引っ越すこととなり10月末で退職することとなりました。短い間でしたがありがとうございました。

スウェーデンで開発された虫歯治療技術 カリソルブ



カリソルブ治療は、健康な歯質をほとんど削らない虫歯治療です。日本では2007年に厚生労働省に認可されました。

健全な軟組織、エナメル質、象牙質には作用せず、虫歯だけに作用しやわらかくすることのできるカリソルブは、健康な歯質をほとんど削ることのない虫歯治療が可能です。

削るのを最小限に抑えられ、ほとんどの処置において無麻酔または麻酔の量を減らすことができます。

カリソルブ治療は、神経まで達していない虫歯が対象です。虫歯部分にカリソルブを塗ることで、虫歯部分だけに薬剤が作用し軟かくなります。やわらかくなった組織を取り除き、詰め物をするだけで治療は終了です。

※保険適用外です。)

